

報道関係 各位

2018年7月7日  
株式会社日本レースプロモーション

7月7日(土)～8日(日)  
2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 富士スピードウェイ  
予選結果速報

**ニック・キャシディ(コンドー レーシング)が、雨に翻弄された予選を制す！**

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦の公式予選が富士スピードウェイ レーシングコース(1周:4.563km)で行われ、ニック・キャシディ(コンドー レーシング)がポールポジションを獲得しました。

14時30分から始まった公式予選は、雨に翻弄された予選となりました。朝からの雨は上がり、ドライコンディションでスタートしたQ1でしたが、前半を経過したところで再び雨が降り出し、前大会予選1位の野尻智紀(ドコモチームダンディライアンレーシング)は、タイムを残す前にウェットコンディションとなってしまう、残念ながらQ1で敗退となりました。

Q2は、スリックタイヤとウェットタイヤが混在する状況でスタート。その後、雨が落ちることはなく、ウェットでスタートした各車がスリックに履き替えてタイムを刻んでいく中、ピットインのタイミングが遅れてしまった関口雄飛(イトウチュウエネクス チーム インパル)でしたが、一発の集中を見せ、1分24秒358のタイムを出し8位でQ2を通過しました。

続くQ3は、他車がスリックタイヤでスタートする中、中嶋一貴(バンテリン チーム トムス)だけがレインタイヤでコースイン。1周目で雨が落ち始め、他車がピットに戻りレインタイヤに履き替える中で一人タイムを刻み逃げ切るかと思われましたが、交換を完了した各車が中嶋一貴のタイムを次々と塗り替え、ニック・キャシディ(コンドー レーシング)が予選1位を獲得しました。続く2位には、山本尚貴(チーム・ムゲン)、3位には石浦宏明(ジェームス ピーエムユーセルモインギン)が入りました。

決勝レーススタートは、7月8日(日)14時15分を予定しています。

\*記録の詳細は、別途添付公式通知「公式予選総合正式結果表をご参照ください。



雨に翻弄された予選を制した、ニック・キャシディ(コンドー レーシング)

Q1 (20分間) 上位14台がQ2に進出。15～19位の順位が確定。

Q2 (7分間) 上位8台がQ3に進出。9～14位の順位が確定。

Q3 (7分間) 1～8位の順位が確定。

・セッションの間のインターバルは各10分

・ノックアウト方式の名称は、予選で好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。

※Q1=ミディアムタイヤのみ使用可能。

※Q2、Q3=ソフトタイヤ、ミディアムタイヤの使用が可能。

## 決勝レース

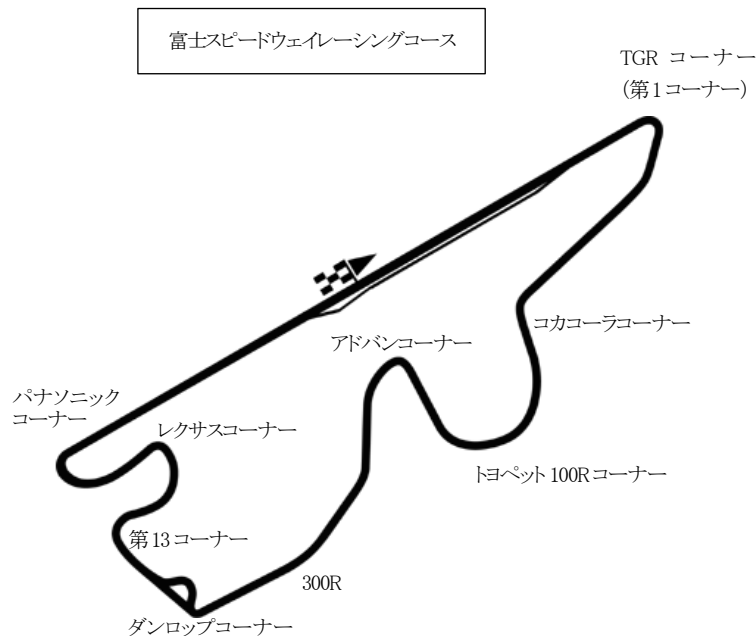
55周 (1周:4.563km×55周=250.965km)

## 富士スピードウェイレーシングコースについて

富士スピードウェイは、51年の歴史を誇る歴史あるサーキットです。

世界的に見てもとても長い、全長1.475kmのストレートが特徴の一つで、レース中のスリップストリームを使ったエキサイティングな追い越しを見ることができます。TGRコーナー(第1コーナー)は、メインストレートでスピードが乗った状態からのフルブレーキングによる進入が勝負所になり見どころの一つです。

また、アドバンコーナーから複合コーナーの300Rまでは、セッティング次第でダンロップコーナー手前の速度に大きな影響を及ぼします。シケイン形状のダンロップコーナーから、第13コーナー、レクサスコーナーの区間は、他のハイスピードエリアとは大きく異なり微妙なアクセルコントロールが必要です。最終コーナーのパナソニックコーナーの脱出速度が、メインストレートの最高速に大きく影響するため、丁寧に最短のライントレースが要求されます。



2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 エントリーリスト

2018年5月15日現在

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/ 4/23	日本/東京都	JMS P.MU/CERUMO・INGING (ジェームス ピーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA RI4A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/ 9/12	日本/神奈川県			
3	ニック・キャンディ Nick Cassidy	1994/ 8/19	ニュージーランド	KONDO RACING (コンドー レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA RI4A
4	山下 健太 Kenta Yamashita	1995/ 8/ 3	日本/千葉県			
5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/ 9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	村岡 潔	HONDA HR-417E
6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	1993/10/13	日本/埼玉県			
7	トム・ディルマン Tom Dillmann	1989/ 4/ 6	フランス	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモ スノコ チーム ルマン)	片岡 龍也	TOYOTA RI4A
8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	1987/ 4/30	日本/群馬県			
15	ダニエル・ティクトウム Daniel Ticktum	1999/ 6/ 8	イギリス	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-417E
16	山本 尚貴 Naaki Yamamoto	1988/ 7/11	日本/栃木県			
17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアル レーシング)	金石 勝智	HONDA HR-417E
18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/ 9/13	日本/兵庫県	carrozzeria Team KCMG (カロツツェリア チーム ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA RI4A
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA RI4A
20	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994/ 3/ 7	日本/広島県			
36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/ 1/11	日本/愛知県	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA RI4A
37	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/ 8/25	イギリス			
50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	1986/ 12/ 9	日本/東京都	B-Max Racing team (ビーマックス・レーシング・チーム)	本山 哲	HONDA HR-417E
64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/ 1/14	インド	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-417E
65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/ 6/ 1	日本/東京都			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム8台  
トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台

(車両: SF14 タイヤ: ヨコハマ)

## 2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

### ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	2018/4/21-22	2018/5/12-13	2018/5/26-27	2018/7/7-8	2018/8/18-19	2018/9/8-9	2018/10/27-28
				SUZUKA Rd.1	AUTOPOLIS Rd.2	SUGO Rd.3	FUJI Rd.4	MOTEGI Rd.5	OKAYAMA Rd.6	SUZUKA Rd.7
1	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	21	<b>11</b>	0	<b>10</b>	0	0	0	0
2	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	10	2	0	8	0	0	0	0
3	5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	9	6	0	<b>3</b>	0	0	0	0
4	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	8	8	0	0	0	0	0	0
5	36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	7	1	0	6	0	0	0	0
6	7	トム・ディルマン Tom Dillmann	5	0	0	5	0	0	0	0
7	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	5	5	0	0	0	0	0	0
8	64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	4	0	0	4	0	0	0	0
9	65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	4	4	0	0	0	0	0	0
10	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	3	0	0	3	0	0	0	0
11	17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	3	3	0	0	0	0	0	0
12	4	山下 健太 Kenta Yamashita	1	0	0	1	0	0	0	0
13	20	平川 亮 Ryo Hirakawa	1	0	<b>1</b>	0	0	0	0	0
14	6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	0	0	0	0	0	0	0	0
15	37	J・ロシター James Rossiter	0	0	0	0	0	0	0	0
16	2	国本 雄貴 Yuji Kunimoto	0	0	0	0	0	0	0	0
17	50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	0	0	0	0	0	0	0	0
18	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	0	0	0	0	0	0	0	0
19	7	ピエトロ・フィッティパルディ Pietro Fittipaldi	0	0	0	0	0	0	0	0
20	15	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	0	0	0	0	0	0	0	0
21	15	阪口 晴南 Sena Sakaguchi	0	0	0	0	0	0	0	0
22	15	ダニエル・ティクトゥム Daniel Ticktum	0	0	0	0	0	0	0	0

\*表中ポイント数字の 太字：優勝 下線：予選1位

### チームポイントランキング

順位	No.	チーム	ポイント	2018/4/21-22	2018/5/12-13	2018/5/26-27	2018/7/7-8	2018/8/18-19	2018/9/8-9	2018/10/27-28
				SUZUKA Rd.1	AUTOPOLIS Rd.2	SUGO Rd.3	FUJI Rd.4	MOTEGI Rd.5	OKAYAMA Rd.6	SUZUKA Rd.7
1	15   16	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	20	10	0	10	0	0	0	0
2	3   4	KONDO RACING (コンドー レーシング)	11	2	0	9	0	0	0	0
3	19   20	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インバル)	8	8	0	0	0	0	0	0
4	5   6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライオンレーシング)	8	6	0	2	0	0	0	0
5	64   65	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	8	4	0	4	0	0	0	0
6	36   37	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	7	1	0	6	0	0	0	0
7	7   8	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモ スノコ チーム ルマン)	5	0	0	5	0	0	0	0
8	1   2	JMS PMU/CERUMO - INGING (ジェームス ピーエムユーセルモインギング)	5	5	0	0	0	0	0	0
9	18	carrozeria Team KCMG (カロツェリア チーム ケーシーエムジー)	3	0	0	3	0	0	0	0
10	17	REAL RACING (リアル レーシング)	3	3	0	0	0	0	0	0
11	50	B-Max Racing team (ビーマックス・レーシング・チーム)	0	0	0	0	0	0	0	0

\*表中ポイント数字の 太字：優勝

\*チームポイント：各チーム（エントリー）に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム（エントリー）に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。チームポイントには、予選1位のポイントは与えられない。

## —開催概要—

- 大会名称 : 2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 富士スピードウェイ
- 開催日程 : 2018年7月7日(土) 公式予選  
2018年7月8日(日) 決勝レース
- 開催サーキット : 富士スピードウェイ レーシングコース(1周:4.563km)
- 主催 : 富士スピードウェイ  
FISCO クラブ (FISCO-C)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)  
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)  
日本フォーミュラスリー協会(JF3A)  
Honda ワンメイクレース事務局(HORS)
- 同日開催 : 2018年 全日本フォーミュラ3選手権 第5戦/第6戦  
N-ONE OWNER'S CUP Rd.9  
WAKO'S スーパーカートカップ第4戦・富士チャンピオンシリーズ第2戦

## 【TV放映予定】

### ■ BSフジ 決勝戦生中継『2018スーパーフォーミュラ第4戦 富士スピードウェイ』

番組では現地の臨場感をそのままお届けします。ピエール北川による場内実況がサーキットの臨場感をそのまま伝え、ピットの緊迫した状況をレーシングドライバー 松田次生と、東(ひがし)美樹がレポートします。今大会は、解説者に現在スーパーGTでチーム ルマンの監督として活躍する脇阪寿一を迎え、鋭くまたわかりやすく解説をします。

○実況：ピエール北川

○解説：脇阪寿一

○ピットリポーター：松田次生、東(ひがし)美樹

○放送時間：2018年7月8日(日) 14:00～15:55

### ■ BSフジ『スーパーフォーミュラ GO ON!』

SF14ラストイヤー、全戦2スペックタイヤ制など話題が豊富な2018シーズンのレースダイジェストをレギュラーコメンテーターの小林可夢偉とゲスト解説の松田次生がレースを分析。また、ゲストコメンテーターとして登場する現役ドライバーやチーム関係者、レース好きの著名人などと共にホットなニュースを深堀りします。

番組に華を添えるのは、進行を担当する本田朋子アナ。ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当します。

《放送予定時間》

第4話： 2018年 6月 23日(土) 23:00～23:55

2018年 7月 1日(土) 26:30～27:25(再放送)

### ■ J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組もOALします。

詳しくは [jsports.co.jp](http://jsports.co.jp) をご参照ください。

第4戦 富士スピードウェイ

予選 2018年 7月 7日(土) 14:20～(予定) J SPORTS 4 <生中継>

決勝 2018年 7月 8日(日) 13:45～(予定) J SPORTS 4 <生中継>

## 【映像の配信】

### ■ Yahoo! GYAO!

大会終了14日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

※配信日時は変更となる場合があります。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

### ■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

[superformulavideo-YouTube](https://www.youtube.com/user/superformulavideo)

<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

### 【海外配信/放送】

- motorsport.com (配信)
- motorsport.tv (放送)

### 【インターネット/SNS】

- オフィシャルWEBサイト  
<http://superformula.net>
- 公式LiveTimingアプリ  
i OS,Android 対応無料ライブタイミングアプリ「SUPERFORMULA」で検索
- スーパーフォーミュラオフィシャルFacebook  
<https://www.facebook.com/superformula.official>
- スーパーフォーミュラオフィシャル Twitter #sformula  
[https://twitter.com/SUPER\\_FORMULA](https://twitter.com/SUPER_FORMULA)

### 【チケット情報】

- 前売観戦券(2日間有効)  
大人:5,700 円  
ペア券(大人2名):10,300 円  
※中学生以下は保護者同伴に限り入場無料
- 前売パドックパス  
大人1名:16,000 円(観戦料込み)  
子供1名(小中学生):5,700 円  
※子供用パドックパスの前売はございません。レース当日にお買い求めください。
- 前売ピットウォークパス  
予選日 大人1名:1,600  
決勝日 大人1名:2,100 円  
※中学生以下は保護者同伴に限り入場無料

\*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformula.net/>)  
102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル  
e-mail:media@superformula.net  
Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135





# 2018 SUPER FORMULA Round 4 Fuji Speedway 7.7 SAT 8 SAT



19



2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦

SF-5

## SUPER FORMULA 公式予選

2018/7/17 16:25



### 正式総合順位結果表

Weather : (Q1)Rain, (Q2)Rain, (Q3)Rain

Fuji Speedway(4,563m)

Track : (Q1)Wet, (Q2)Wet, (Q3)Wet

Pos	No	Name	Team	Engine	Best Time			Gap	Ave. km/h
					Q3	Q2	Q1		
1	3	Nick Cassidy	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	1'38.098	1'23.568	1'24.564		167.453
2	16	Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	1'38.289	1'24.197	1'24.181	0.191	167.128
3	1	Hiroaki Ishiura	JMS P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	1'38.786	1'23.641	1'24.451	0.688	166.287
4	36	Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	1'38.840	1'24.046	1'24.753	0.742	166.196
5	17	Koudai Tsukakoshi	REAL SF14	Honda HR-417E	1'38.927	1'24.037	1'24.879	0.829	166.050
6	19	Yuhi Sekiguchi	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	1'39.049	1'24.358	1'23.954	0.951	165.845
7	20	Ryo Hirakawa	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	1'40.032	1'23.328	1'24.230	1.934	164.215
8	2	Yuji Kunimoto	JMS P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	1'40.738	1'23.200	1'24.510	2.640	163.065
9	37	James Rossiter	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A		1'24.397	1'24.732		194.637
10	6	Nobuharu Matsushita	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	Honda HR-417E		1'24.436	1'24.266	0.039	194.547
11	65	Takuya Izawa	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E		1'24.680	1'24.539	0.244	193.987
12	4	Kenta Yamashita	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A		1'24.834	1'24.204	0.154	193.635
13	8	Kazuya Oshima	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A		1'25.237	1'24.849	0.403	192.719
*14	18	Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A		1'31.798	1'24.663	6.561	178.945
15	5	Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M5S SF14	Honda HR-417E		1'25.001			193.254
16	50	Katsumasa Chiyo	B-Max Racing SF14	Honda HR-417E		1'25.227		0.226	192.742
17	7	Tom Dillmann	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A		1'25.289		0.062	192.602
18	64	Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E		1'25.307		0.018	192.561
19	15	Daniel Ticktum	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E		1'25.553		0.246	192.007

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (1'29.830 - 107%) \*\*\*\*\*

(Q1)S.Time 14:30'00 F.Time 14:50'00 (Q2)S.Time 15:00'00 F.Time 15:07'00 (Q3)S.Time 15:17'00 F.Time 15:24'00

Entry :19 Start :19

\*1 (Q2):CarNo.18は、統一規則第19条2.(走路外走行)違反により、当該ラップ(1'26.342)削除のペナルティを科す。

計時委員長 相田 久仁一	大会競技長 堀 尚之	審査委員長 山崎 一成
-----------------	---------------	----------------